

# 森

フォレスト・ニュース

NO.988

20年6月

## のひろば

近畿中国森林管理局

大阪市北区天満橋 1-8-75 TEL 050-3160-6763

<http://www.kinki.kokuyurin.go.jp>



八川地域森林共同施業団地（島根県奥出雲町）

### 民有林と国有林の連携による森林づくり

地球温暖化吸収源対策の確実な推進に向けて、間伐等の森林整備をいかに効率的に進めていくかが大きな課題となっています。

近畿中国森林管理局では、民有林との連携による森林施業の共同化や低コスト路網生産システムの導入・普及などにより、間伐等の森林整備と森林資源の有効利用に取り組んでいます。【関連記事は2～3頁】

#### INDEX

- 02 民有林と国有林の連携による森林づくり  
～森林共同施業団地設定の取組～  
—島根森林管理署—
- 04 私の意見  
「森林を守り育てるまちづくり」  
—滋賀県大津市長 目片 信—
- 05 花粉症発生源対策への取組  
—森林整備課—
- 06 「五山の送り火」と銀閣寺山国有林  
—京都大阪森林管理事務所—
- 07 各署等の取組・行事の紹介
- 08 身を守る日頃の点検すばやい避難  
「山地災害防止キャンペーン」  
—治山課—



この用紙は、日本の森林を育てるために間伐材を使用しています。

# 民有林と国有林の連携による森林づくり

## 〔森林共同施業団地設定の取組〕

島根森林管理署では、地域における多様で豊かな森林づくりと森林資源の有効利用を継続的に進めていくため、管内各地で民有林との共同施業団地を設定するなど民有林と連携した森林整備を推進し、間伐材などの木材を安定的に供給できる森林づくりに取り組んでいます。



低コスト路網の整備（八川国有林）



土場集積されたスギ間伐材



高性能林業機械による間伐材生産（八川国有林）

### 1 導入の背景と目的

島根県の「木材生産団地化推進プロジェクト」等を踏まえて平成18年11月に国有林で開催された路網及び間伐に関する現地検討会を契機に、島根県（独）緑資源機構中国四国地方整備局（当時）と近畿中国森林管理局は、平成19年5月に、島根県全域を包括する「森林整備に関する覚書」を締結しました。

これに基づき県、（独）緑資源機構松江水源林事務所、森林管理署等が島根県仁多郡奥出雲町において森林整備推進協定を結んだのを第1号として、これまで島根県内3流域に、13（面積約4千600ha）の森林共同施業団地を設定しています。

これら森林共同施業団地では、団地毎の関係者により締結した「森林整備推進協定」に基づき、団地内を循環する作業路の作設など効率的な林内路網整備や高性能林業機械の導入による効率的な間伐等に、民有林・国有林が連携して取り組んでいます。

### 2 各関係者のメリット

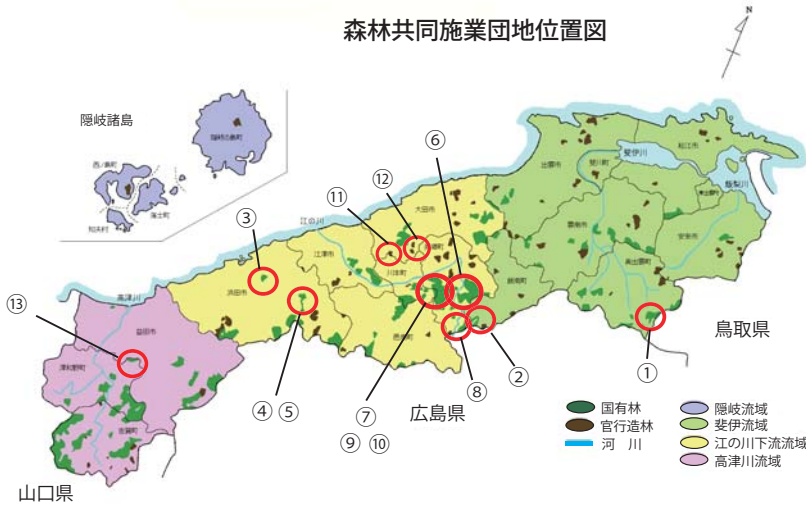
#### ① 民有林

小規模個人所有者の同意を個々に得ながら事業を進めなければならず、事業着手までの手続きに長時間を要していましたが、国有林が参画することによって規模の拡大によるコスト縮減が見込まれ、個人所有者の同意も得られやす



島根県内における森林共同施業団地の設定状況（平成19年度）

| NO. | 流域        | 設定月    | 施業団地名       | 団地面積<br>(h a) | 市町村     | 国有林名       | 民有林<br>関係者 |
|-----|-----------|--------|-------------|---------------|---------|------------|------------|
| 1   | 斐伊川       | H19.5  | 八川          | 298           | 奥出雲町    | 八川         | 緑機構、県行、個人  |
| 2   |           | H20.2  | 程原・上赤名      | 746           | 飯南町     | 程原、女亀山（官行） | 緑機構、公社、町ほか |
| 3   |           | H19.8  | 柿木山         | 324           | 浜田市     | 柿木山        | 公社、個人      |
| 4   |           | H19.12 | 雲井山南        | 191           | 浜田市     | 雲井山        | 緑機構、公社、市ほか |
| 5   |           | H19.12 | 雲井山北        | 206           | 浜田市     | 雲井山        | 公社、県行、市ほか  |
| 6   |           | H20.1  | 潮・今山・曲山     | 410           | 美郷町     | 今山、曲山      | 公社         |
| 7   | 江の川<br>下流 | H20.1  | 田水・竹山       | 470           | 美郷町     | 竹山         | 会社         |
| 8   |           | H20.1  | 田之原・挽木山     | 364           | 美郷町     | 挽木山        | 緑機構、公社、町ほか |
| 9   |           | H20.1  | 宮内・井之谷奥・艾山  | 295           | 美郷町     | 艾山         | 公社、町       |
| 10  |           | H20.1  | 八色石北・笠取・下り谷 | 413           | 川本町     | 下り谷        | 公社、町ほか     |
| 11  |           | H20.3  | 横道・大家・大谷    | 149           | 大田市     | 大谷（官行）     | 公社、市町、個人   |
| 12  |           | H20.3  | 南山・馬野原・唐谷   | 147           | 大田市、川本町 | 唐谷（官行）     | 公社、市、個人    |
| 13  |           | 高津川    | H19.8       | 赤石            | 618     | 津和野町       | 赤石         |
| 合 計 |           |        |             | 4,631         |         |            |            |



八川地域森林共同施業団地  
（島根県仁多郡奥出雲町）



くなり、事業のとりまとめの効率化、時間の短縮も可能となります。

② 国有林

各地に分散する国有林は、周辺民有林と協調することにより、効率的な路網の整備が可能となり、高性能林業機械の導入と合わせ、施業コスト・搬出コストの縮減が図られます。

③ その他

○ 民国が一体的かつ計画的に森林整備を推進することにより、木材の安定供給体制の構築が可能となります。

○ 地域の森林づくりが推進されるほか、安定的な仕事量の確保が可能となります。

3 取組の内容

以下に、八川地域森林共同施業団地における取り組みを紹介します。

○ 八川地域森林整備推進協定

第1号である八川地域森林共同施業団地では、これまで下図の青線部分までしか道路がなく、間伐材等の利用が困難でしたが、共同施業団地の設定により、団地内を循環する効率的な路網の整備（下図赤線）が可能となりました。これにより、平成19年度には、同団地内に民国合わせて3千808mの低コスト作業路を開設し、間伐材985mを合板用材などに供給しました。

4 今後の取組と課題

効率的な森林整備を推進し、木材の安定供給体制を整備していくためには、国有林と民有林の連携が不可欠であり、低コスト路網生産システムを導入できる団地として、より多くの箇所を取りまとめを行い、多面的機能をもつ森林を将来に向かって適時適切に管理できる基盤をつくるのが大きな課題です。

このため、島根森林管理署では、今後とも島根県、流域森林・林業活性化センター等と連携を図りながら、隠岐流域を含む島根県内4流域すべてに、今後4年間で、50箇所程度（約1万ha）の団地を設定することを目標に、森林共同施業団地のメリットを広くPRしていくこととしています。

私の意見

## 森林を守り育てるまちづくり

## 滋賀県大津市長 目片 信



歴史遺産を有する町並みを次代に継承するため、古都にふさわしいまちづくりに取り組んでいるところであります。

さて、本市の面積は、4万6千410haの内、森林面積は2万5千181haを占めており、その内訳は民有林2万2千193ha、国有林2千988haとなっています。

これら森林は、琵琶湖の水を育み自然災害から生命や財産を守るなど、私たちの暮らしと切り離すことができない貴重な財産であり、また二酸化炭素の吸収源・貯蔵庫として重要な役割も果たしています。

しかし、木材価格の低迷や山村地域の過疎化、高齢化など社会の大きな変化により、手入れの行き届かない森林が増加しており、ひ弱な森林になるばかりか、下草が育たず、土壌が流出し自然環境のバランスがくずれ、災害の原因ともなっています。

このように森林を取り巻く現状は、大変厳しいものがありますが、本市では、平成19年度に「人を結び、時を結び、自然と結ばれる 結の湖都 大津」を将来都市像として新たに策定した総合計画の中で、「碧

い琵琶湖と緑の山々の豊かな恵みを受け、発展してきたまちの成り立ちを見つめ、自然と共生する循環型の社会づくりをめざす」ことをまちづくりの大きな柱の一つに掲げました。

森林資源の恵みを取り戻すため、健全な森林の整備、保安林等の適切な管理をはじめ、平成18年4月から実施されている滋賀県の「琵琶湖森林づくり事業」に取組み、水源かん養、木材の供給など多面的な機能を持続的に発揮できるよう、環境を重視した森林づくりを実施しています。

「結」は、かつてわが国の地域社会を支えた助け合いの仕組みです。本市では、この古きよき伝統に新たな光をあて、市民・行政・事業者が互いに尊重・協力しながら三者協働でまちづくりを進めております。森林保全活動の推進についても結の精神で三者が協力しながら取り組みを展開し、次代へ水と緑のまち大津を引き継いでいきたいと考えています。

大津市は、比叡・比良をはじめとした豊かな山系と、その四季折々の彩りを映す琵琶湖に抱かれ、古くから湖上交通の中心として、また陸上の主要な街道が集中する交通の要衝として繁栄してまいりました。

西暦667年に、天智天皇によって大津宮が営まれ、わずか5年という短い間でありましたが、日本の政治の中心として重要な役割を果たしたことに始まり、その後も国府、門前町、城下町、港町、宿場町など機重にも積み重なった各時代の歴史的遺産が自然と一体となって「古都・大津」の歴史的風土を形成してきました。

平成15年10月には「古都」の指定を受け、世界遺産の比叡山延暦寺や日本有数の



大津市鎌倉谷線林道終点からの風景



上田・上逢坂線付近の間伐手入れ林分



# 花粉症発生源対策への取組

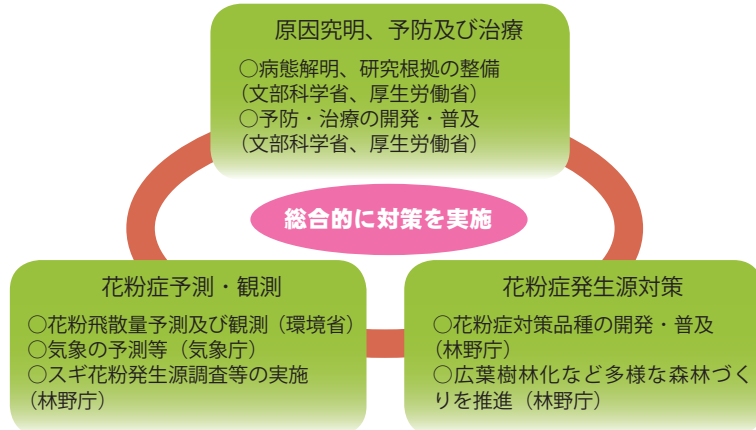
## ◆森林整備課◆

スギ花粉症は、患者数が日本人の10%を超えると推計されるなど、社会的な問題となっていますが、その発症メカニズムは、大気汚染等との

関係を指摘する報告もあり、十分には解明されていません。このため、花粉症対策は、原因の究明、予防及び治療、花粉の発生源に関する対策

を総合的に推進することが必要なことから、関係省庁が協力してそれぞれの分野の対策に取り組んでいます。この中で、林野庁では「花粉発生源対策

### 関係省庁による取組



### 花粉発生源対策を進める上での課題

|   |                   |
|---|-------------------|
| 1 | 花粉発生源対策の効果の早期発見   |
| 2 | 少花粉スギ林等への転換の促進    |
| 3 | 少花粉スギ苗木供給量の増大     |
| 4 | 少花粉スギ苗木供給体制の確立    |
| 5 | 魅力ある少花粉・無花粉品種の開発  |
| 6 | 国民参加による花粉発生源対策の推進 |

### ◆近畿中国森林管理局における今後の取組

- スギ花粉発生源対策推進協議会を通じた関係府県等との連携
  - 少花粉スギまたは広葉樹を主体とした森林に誘導していくための施業方法等を検討
- など、京阪神圏等への花粉の飛散に強く影響を与えると推定されるスギ林を中心として、花粉の少ない森林への誘導を推進します。

プロジェクトチーム」を設置し、その検討結果が平成19年8月に示されました。この検討結果に基づき、克服すべき6課題の全てに適切な対応が行われた場合、首都圏等へのスギ花粉の飛散に強く影響を与えると推定される約9・5万ヘクタールのスギ林の概ね5割について、今後10年間で少花粉スギや広葉樹林等への転換が進むことが期待できます。

また、少花粉スギの苗木の供給量も、平成18年度は11万本でしたが、24年度には約100万本、29年度には約1千万本に増大することが期待できます。(林野庁ホームページ「今後の花粉発生源対策の推進について」)

これらの目標を達成するためには、国、都道府県、森林組合、種苗生産組合などの関係機関が連携して計画的に実施していくことが必要です。このことから、近畿中国森林管理局では、平成20年2月に京阪神圏の広域な地域を単位に国、関係府県などにより設置した「京阪神圏等スギ花粉発生源対策推進協議会」に参加するとともに、少花粉スギまたは広葉樹を主体とした森林に誘導していくための施業方法等を検討するため、大阪府箕面市の箕面国有林内において、関係自治体等との現地検討会を開催することにしています。



# 「五山の送り火」と銀閣寺山国有林

ぎんかくじやま

京都大阪森林管理事務所 ②8

「五山の送り火」で有名な「大文字山」のすぐ隣が国有林となっていることを存じてでしょうか。

銀閣寺山国有林は、「五山の送り火」で有名な「大文字山」の左側（北側）、世界文化遺産に指定されている銀閣寺（慈照寺）の背後に位置しています。銀閣寺山国有林の面積は約24 haです。

「大文字山」への登山道は、銀閣寺の裏手から始まり、途中の千人塚までは銀閣寺山国有林を通っています。千人塚では、室町時代の戦場であったためか、人骨の入った壺が多く発見されています。これら人骨は村人が供養のために祀ったものと言われています。千人塚から先は階段の連続となり、「大」の字の横一文字の左端に到着します。麓から「大」の字までの所要時間は40分程度です。「大」の字からは京都市街地を一望に眺めることができます。

「大文字山」の周辺は「NPO法人大文字保存会」の所有地となっています。銀閣寺山国有林内には、麓から山頂付近まで、NPO法人大文字保存会の機材運搬用の索道が設置されており、毎年8月16日に行われる「五山の送り火」の前には、送り火の

燃料となるアカマツ材や関連する資材の運搬に使われています。

銀閣寺山国有林は、京都東山の国有林の中でも、比較的、多くのアカマツが残っています。かつて、銀閣寺山国有林の多くはアカマツで覆われていたと言われていますが、松枯れの拡大により、現在では、尾根筋に若干のアカマツが残るばかりとなっています。当所では、松枯れ対策として、毎年、マツノザイセンチュウによる枯損木の伐倒・薬剤処理を行うとともに、マツノザイセンチュウ対策として生存木の樹幹への薬剤注入を行っています。

今年、当所では、地域文化への貢献の観点から、銀閣寺山国有林の伐倒木の一部を「五山の送り火」の薪材として「NPO法人大文字保存会」に提供しました。「五山の送り火」では、燃焼時間の関係から、脂のつた80年生程度のアカマツのみが薪として使われています。今年8月16日の「五山の送り火」では、銀閣寺山国有林産のアカマツが薪として燃えることになりました。また、今年3月12日には、銀閣寺山国有林において、「高島屋」社員のボランティアによるアカマツの復活に向けたイベントを

開催しました。当日は、高島屋京都店・洛西店の社員約28名が参加して、マツノザイセンチュウ抵抗性アカマツの植栽とアカマツの天然更新に向けた「地掻き」の作業を行っていただきました。

当所としては、今後とも、銀閣寺山国有林を拠点として、京都の景観におけるマツの復活に取り組む方針です。



銀閣寺山を遠望



高島屋社員によるアカマツの復活に向けたボランティア作業

## ◆銀閣寺山へのアクセス

JR京都駅から京都市バス100系統「銀閣寺前」停留所下車、徒歩10分程度。

〒602-1805

京都市上京区西洞院通り下長者町下ル丁子風呂町一〇二

京都農林水産総合庁舎

TEL 075-414-9822  
FAX 075-431-3375

<http://www.kinkikokuyurin.go.jp/kyoto>



## 各署等の取組・行事の紹介

### 高台寺山国有林で「伝統文化の森事始」を開催

【京都大阪森林管理事務所】3月30日、清水寺の裏山に当たる高台寺山国有林において、「京都伝統文化の森推進協議会」森林整備・景観対策専門委員会の主催による森林整備イベント「伝統文化の森事始」が開催されました。「京都伝統文化の森推進協議会」は、昨年末に、京都東山の国有林を対象として、多様な関係者の参加により、文化的価値の発信と森林整備・景観対策の実施に取り組むことを目的として設立されたものです。今回の「事始」は、8年程前に「列状間伐」を行った箇所を対象に林床整備・除伐作業を実施するもので、協議会発足後、最初の活動となります。

イベントには、「京都伝統文化の森推進協議会」から、森本副会長をはじめとする委員・専門委員、地元から、清水寺、清水門前会、弥栄自治連合会、東山消防団、弥栄自主防災会、祇園商店街振興組合、知恩院、NPO法人大文字保存会の関係者、京都市の関係者、国有林側からは、佐古田局計画部長のほか、当所より、福田所長など合計約50人が集まりました。

当日は、集合場所の清水寺内の子安観音において、協議会の森林整備・景観対策専門委員長である田中和博京都府立大学教授による開会の挨拶などの後、徒歩にて作業箇所に向かいました。

作業箇所では、高田研一専門委員（森林再生支援センター常務理事）より、高台寺山国有林では、シイが優占しつつあることから、他の広葉樹の成長を助けるため、シイを選択的に伐採してもらうこと、今後は、試験地として植生の推移を継続的に調査し、東山国有林における森林整備の方向を検討する際の参考とする旨の説明がありました。

その後、参加者全員が手鋸を持って、シイの伐採に取り組みました。30分程度の作業でしたが、シイにより暗かった森林が明るい森林に姿を変えました。

「京都伝統文化の森推進協議会」では、6月頃を目途に、文化的価値発信に関するイベントを開催する予定となっています。



慣れない作業に汗を流す参加者

### ふれあいの森で森林教室 地元へ大きな反響

【広島北部森林管理署】4月25日、「ふれあいの森・釜峰山森林浴公園」で庄原市立口南小学校、全校児童77名の参加による「新入生歓迎会を兼ねた春の遠足」において「森林教室」を開催しました。当日は、児童のほか報道関係者8社や地元関係者など合計113名が早春のあべまき巨木林の森を満喫しました。

児童は、職員手作りの創作紙芝居「かまみね天狗とコルクの木」により山の歴史と地球温暖化防止などについて学習。紙芝居は、山にすむ天狗が、荒らされたり、手入れされたりする森林を見て、一喜一憂する内容で、参加した児童は、興味深く聞き入っていました。また、職員の指導で木の輪切りなどを使ったクラフト作りに挑戦しました。5年生の沖川武君は「体験学習を通して、改めて森林と木を大切にしていきたい」と思いました」とコメント。先生方からも「木で出来た家具や家が生きていることの説明に感銘した。子供達に木のぬくもりの大切さを語り継ぎたい」との感想が述べられました。

今回の森林教室の様子はテレビによる2度の報道があったほか、創作紙芝居について地元有力新聞社の取材を受けるなど、地元へ大きな反響がありました。



職員の説明に笑顔の児童



木工クラフトに歓声



紙芝居に聞き入る児童



# 身を守る 日頃の点検 すばやい避難

## 「山地災害防止キャンペーン」

平成 20 年 5 月 20 日(火)－ 6 月 30 日(月)

異変を感じたらすぐ避難

日本は、約三分の二が森林に覆われる緑豊かな国土に恵まれています。が、険しい山が続く複雑な地形をしており、川の流れは狭く、急流が多い特徴があります。加えて降水量も多く、梅雨前線や台風に伴う集中豪雨時には、毎年、山崩れ、土石流、地すべりなどの山地災害が発生し、人命・財産に大きな被害を引き起こしています。

林野庁では、国民の皆さんの山地災害に対する関心を深め、被害を少しでも軽減させるために、梅雨を迎える5月20日から6月30日までの期間、「山地災害防止キャンペーン」を展開しています。

これを機に、皆さんに身近にある危険なところを確認したり、避難体制を整えるなどにより、山地災害に備えていただきたいと思います。

### 1 こんなところが危険！

- (1) 山崩れが起こりやすいところ
- ・ 山の斜面に亀裂やわき水がある
- ・ 過去に山崩れがあった
- ・ 急斜面で、ときどき落石がある
- (2) 土石流が起こりやすい渓流
- ・ 渓流の勾配が急である
- ・ 渓流に大きな石がごろごろしている
- ・ たくさんの土砂が堆積している
- ・ 過去に土石流があった

### 2 異変を感じたらすぐ避難

- (1) 山地災害の危険信号を見逃さない！
- 山地災害が起こる場合、山の斜面や川の流れをよく観察してみると、多くの場合、危険信号と思われる変化が現れます。次の八つの

危険信号に注意して下さい。

① 今まで涸れたことのないわき水がとまった

② わき水の量が急に増えた

③ 山の木が傾いたり斜面に亀裂が走った

④ 川が濁り、流水が混ざりはじめた

⑤ 山の斜面から石が転がり落ちてきた

⑥ 普段澄んでいる沢や井戸水が濁ってきた

⑦ 雨が降り続けているのに川の水位が下がった

⑧ 地鳴りが聞こえてきた

(2) 危険信号をキャッチしたら

### 【すぐ避難】

危険を感じたら早めに指定された場所に避難！

### 【すぐ通報】

災害が起こったらずぐ110番か119番に通報！

### 【近づかない】

災害のおそれがある場所には近づかない！

普段から、家族や地域ぐるみで山崩れなどのおそれがある場所や避難場所について、十分に話し合うとともに、実際に自分の目で確認しておきましょう！